

2024年3月期
(2023年度)
決算ハイライト



埼玉りそな銀行

2024年5月14日

2024年3月期 決算の概要

- 当期純利益：277億円 前期比+17億円 (+6.7%)
2期連続増益、通期目標*1比 106.5%
- 実質業務純益：328億円 前期比△14億円 (△4.2%)
コア業務純益(除く投資信託解約損益)*2: 408億円 前期比+11億円
 - 業務粗利益：1,088億円 前期比+11億円 (+1.0%)
有価証券ポートフォリオの健全性・収益性向上を目的とした健全化を実施も円金利上昇を捉えた円債利息の増加等により、2期連続増収
 - 国内預貸金利益：前期比△10億円
貸出金平残：同 +2.7%、貸出金利回り：同 △3bps
ゼロゼロ融資返済影響あるも、貸出金残高は計画超、利回りは計画内
 - フィー収益は14期連続増加、過去最高を更新
 - 債券関係損益(先物込)：前期比同水準
 - 経費：△760億円 前期比△25億円(費用増加)
人財・システムへの積極投資を行いつつ、節電や再エネ転換等奏功し計画内
- 株式等関係損益(先物込)：141億円 前期比+74億円
政策保有株式の売却が進展
- 与信費用：△37億円 前期比△16億円(費用増加)
経営改善支援の取組みが奏功し計画内
不良債権比率は低位推移：1.11%
自己資本比率は更に上昇、成長資金の供給余力拡大：16.55%
- 2025年3月期業績目標
業務粗利益：1,180億円、当期純利益：260億円
当期純利益は、中計最終年度目標を上回る水準

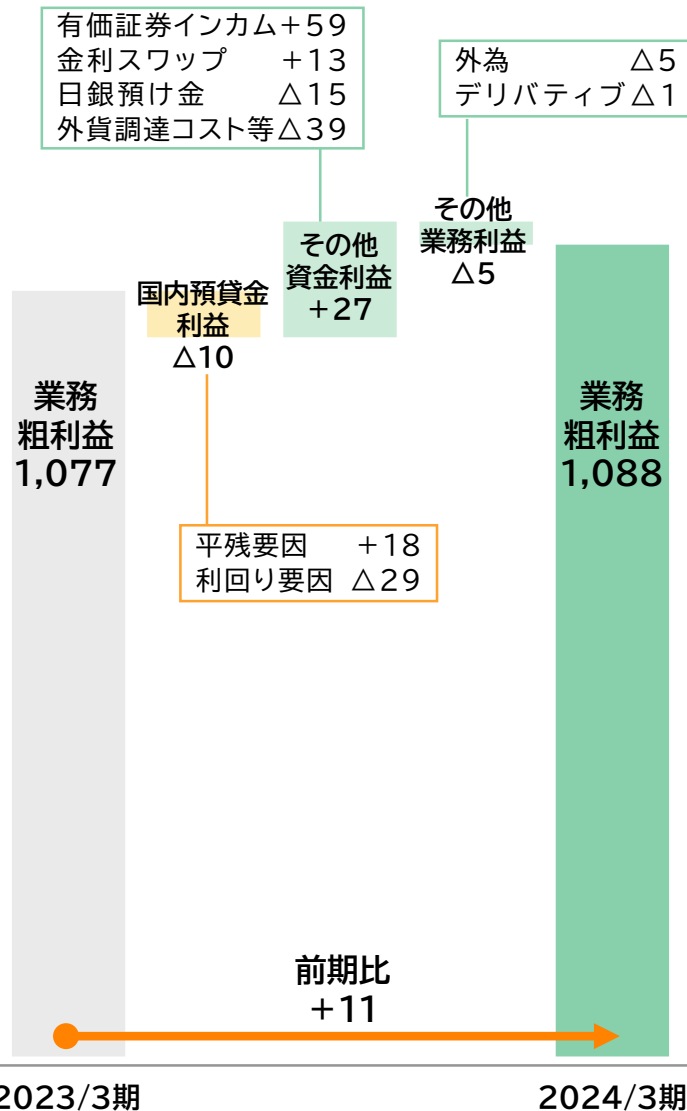
単体(億円)	2024/3期			2025/3期 目標 (d)
	(a)	(b)	増減率 (c)	
業務粗利益 (1)	1,088	+11	+1.0%	1,180
資金利益 (2)	833	+16		
うち国内預貸金利益*3 (3)	657	△10		
うち投資信託解約損益 (4)	1	+1		
フィー収益 (5)	304	+0		
フィー収益比率 (6)	28.0%	△0.2%		
信託報酬 (7)	0	△0		
役務取引等利益 (8)	304	+0		
その他業務利益 (9)	△49	△5		
うち債券関係損益(先物込) (10)	△70	+0		
経費 (11)	△760	△25	△3.5%	△790
経費率 (12)	69.8%	+1.6%		
実質業務純益 (13)	328	△14	△4.2%	390
コア収益*4 (14)	282	△2	△0.9%	
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)*2 (15)	408	+11	+2.9%	
株式等関係損益(先物込) (16)	141	+74		65
与信費用 (17)	△37	△16		△60
その他の臨時・特別損益 (18)	△39	△24		
税引前当期純利益 (19)	392	+19	+5.1%	375
法人税等合計 (20)	△115	△1		
当期純利益 (21)	277	+17	+6.7%	260
連結*5(億円)				
親会社株主に帰属する 当期純利益 (22)	277			260

*1. 2024年3月期業績目標260億円 *2. 実質業務純益-投資信託解約損益-債券関係損益(現物) *3. 国内預貸金利益:譲渡性預金を含む
*4. 国内預貸金利益+円債利息等(円債利息・金利スワップ収益)+フィー収益+経費 *5. 連結対象子会社:(株)地域デザインラボさいたま

期間損益の前期比増減要因

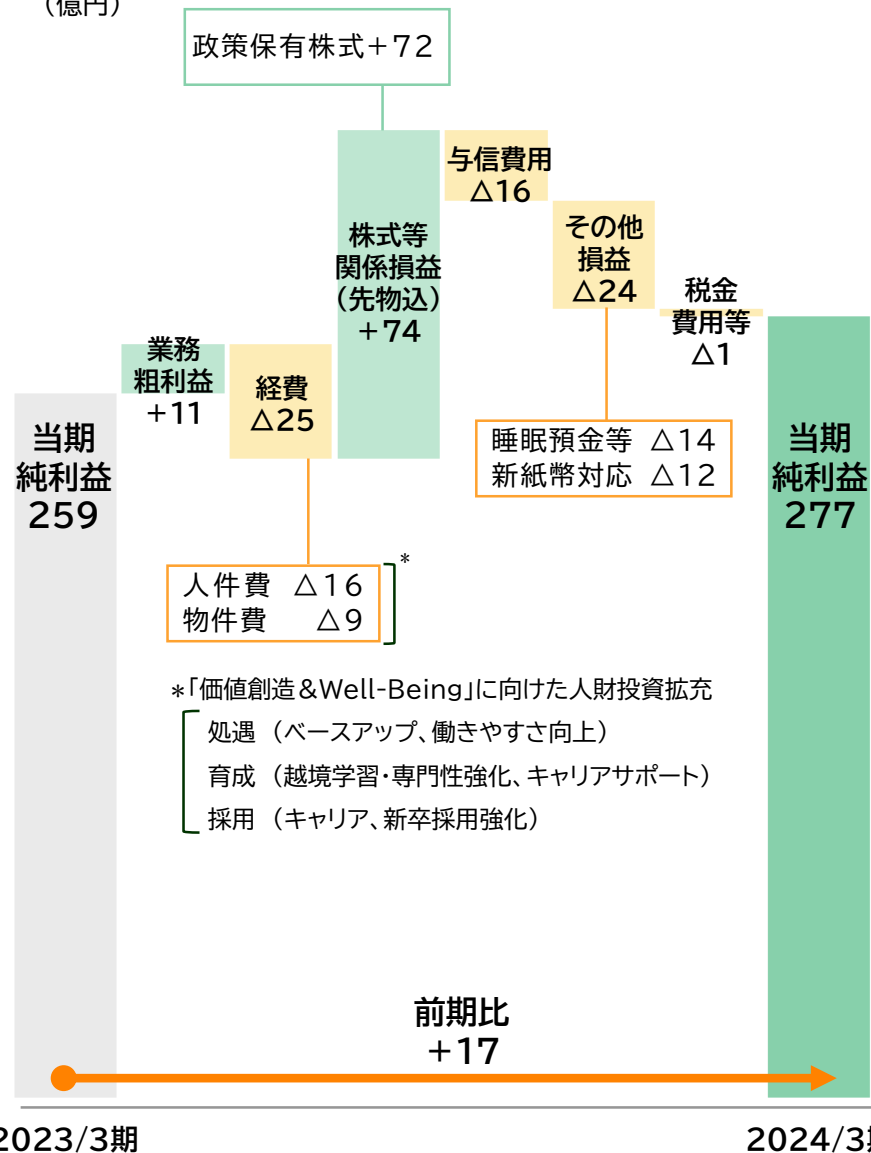
業務粗利益

(億円)



当期純利益

(億円)

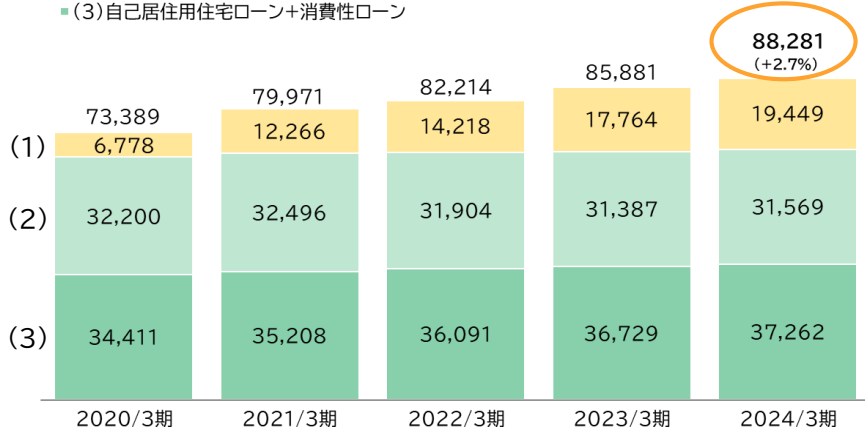


預貸金残高・利回り

貸出金平残(全店)

(億円)

- (1) 公共法人
- (2) 事業性貸出金 *2
- (3) 自己居住用住宅ローン+消費性ローン



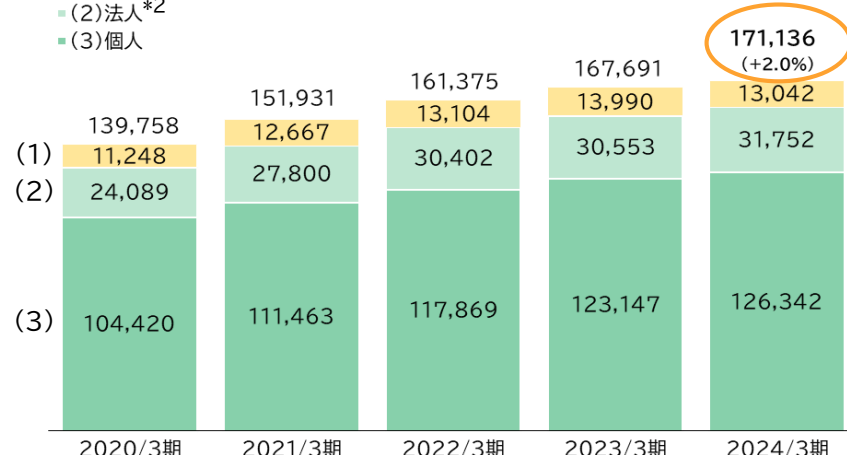
*1. 内訳は社内管理計数

*2. 中堅・中小企業、個人事業主、アパートマンションローン等 *3. ()内は前期比増減率

預金平残(全店)

(億円)

- (1) その他
- (2) 法人 *2
- (3) 個人



*1. 内訳は社内管理計数

*2. 譲渡性預金を含む *3. ()内は前期比増減率

貸出金利回り(国内)

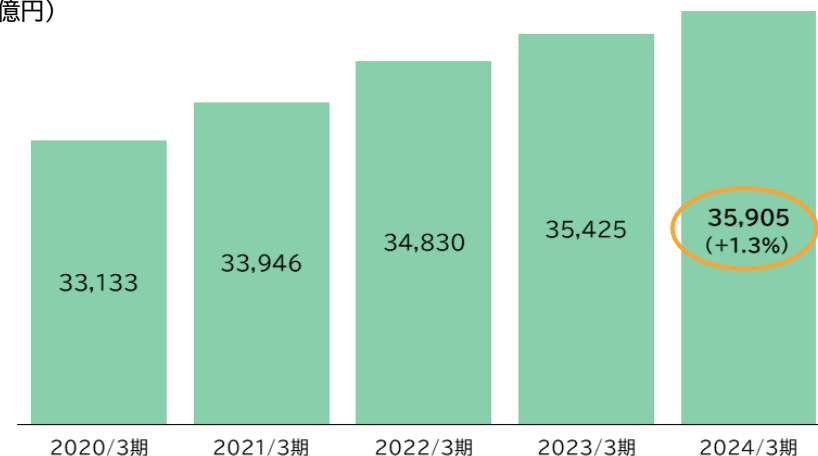
➤ ゼロゼロ融資の返済影響あるも、貸出金利回りの低下幅は縮小

(%)

	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
貸出金利回り (1)	0.99	0.89	0.84	0.78	0.75
前期比 (2)		△ 0.06	△ 0.10	△ 0.04	△ 0.05
					△ 0.03

自己居住用住宅ローン平残

(億円)

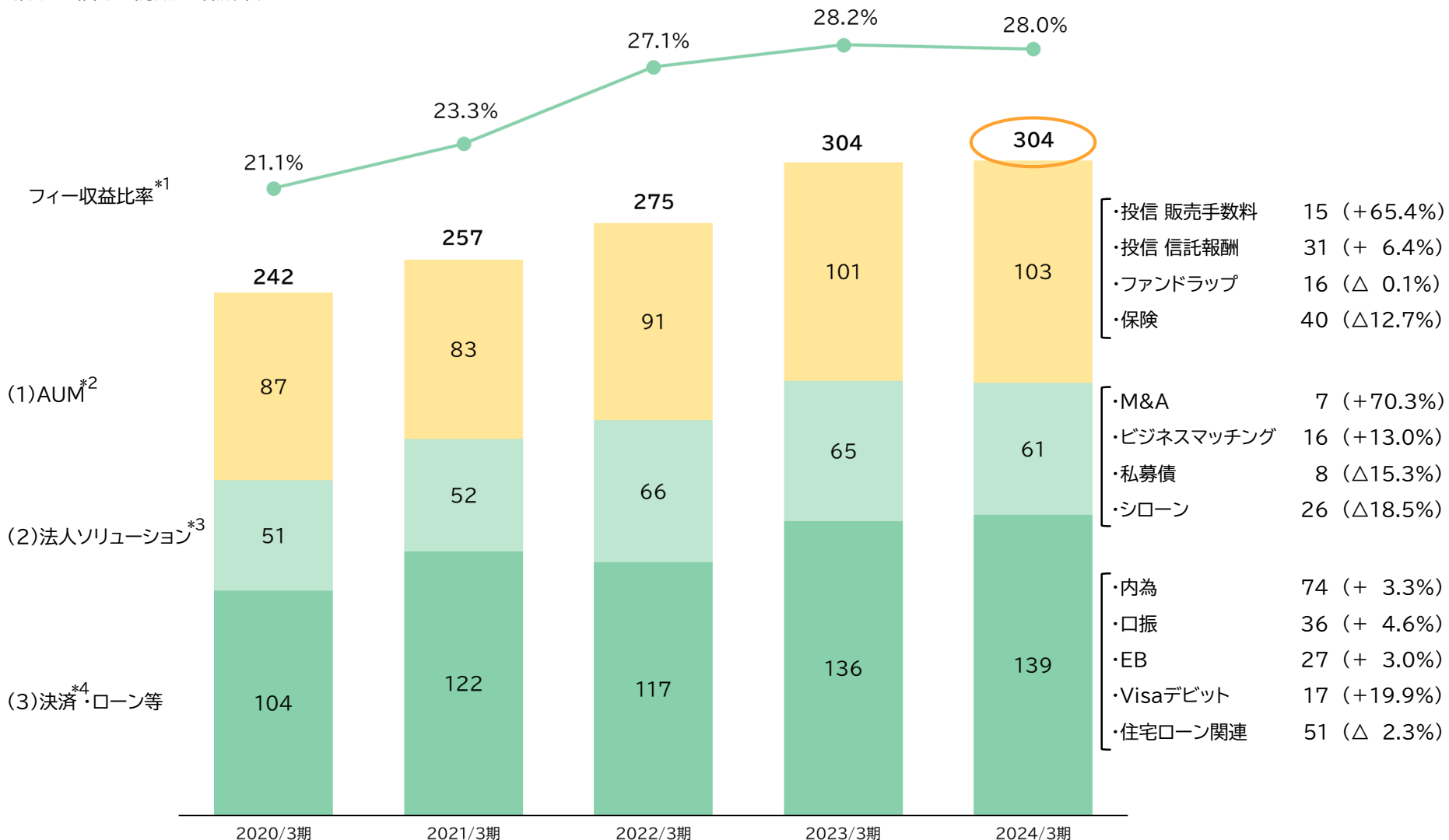


*()内は前期比増減率

フィー収益

➤ フィー収益は、投資信託や決済収益が伸長し14期連続の増加、過去最高を更新

[億円、()内は前期比増減率]



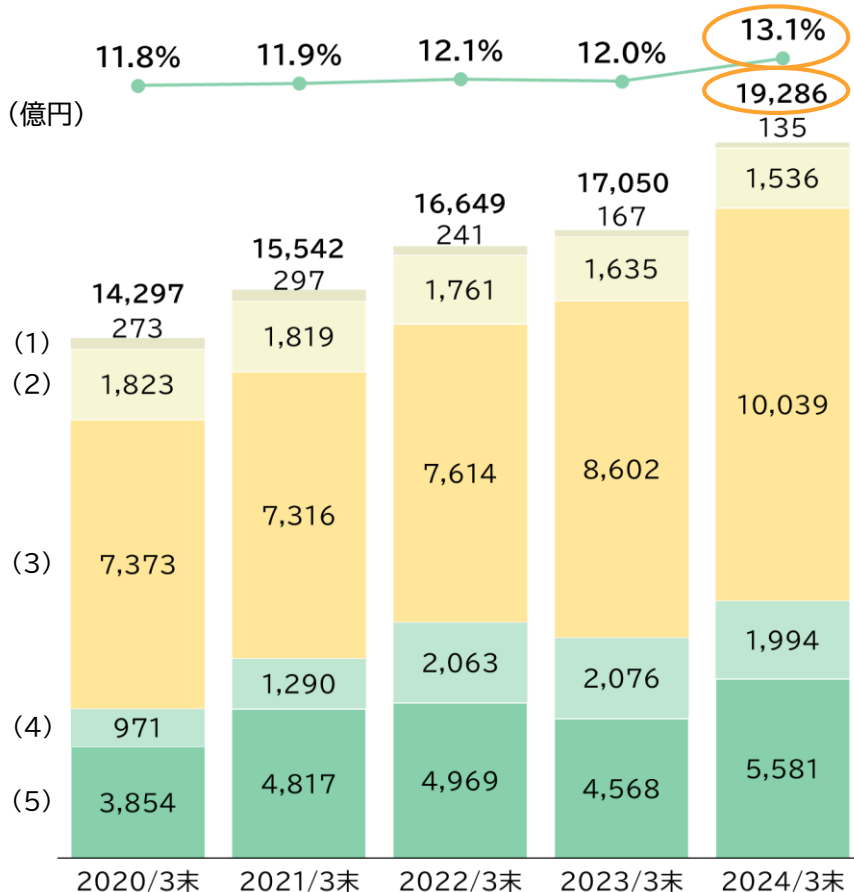
*1. (役務取引等利益+信託報酬)÷業務粗利益 *2. 投資信託(販売手数料・信託報酬)、ファンドラップ、保険
 *3. M&A、ビジネスマッチング、私募債、シローン/コミット/コパナツ/一般貸出関連
 *4. 内為、口振、EB、VISAデビット、りそなキャッシュレス・プラットフォーム *5. 内訳は社内管理計数

資産形成サポートビジネス

個人向け資産形成サポート商品残高

➤ 保険残高が伸長し、個人向け資産形成サポート商品残高は堅調に増加

- (1)外貨預金・実績配当型金銭信託
- (2)公共債
- (3)保険*1
- (4)ファンドラップ*1
- (5)投資信託
- 資産形成サポート商品比率*2



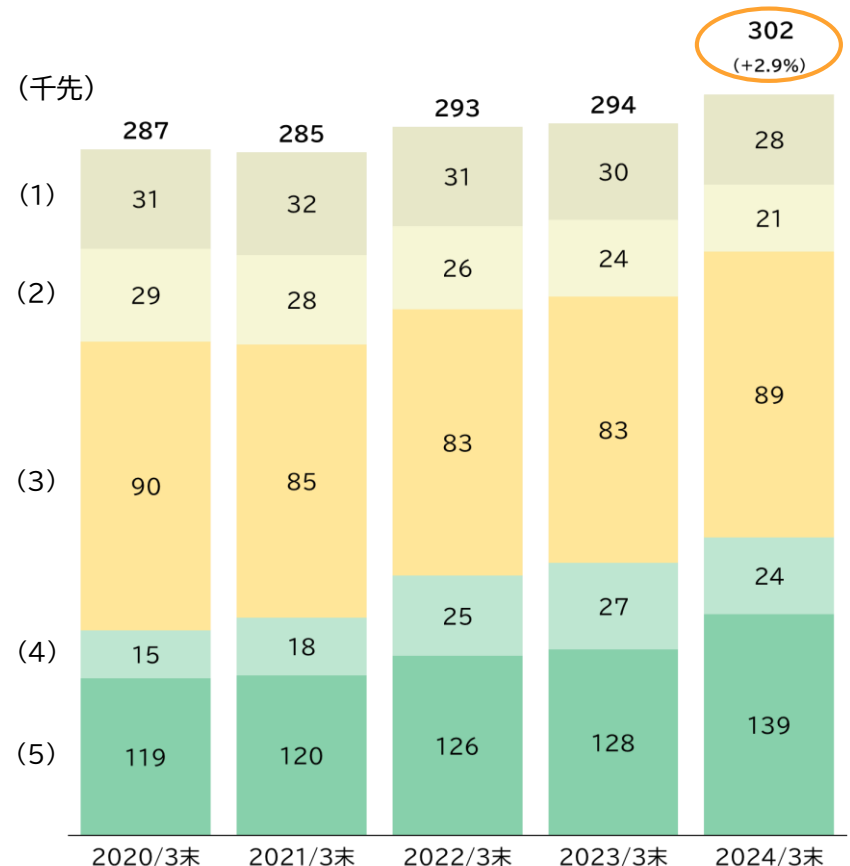
*1. 時価ベース残高
 *2. 個人向け資産形成サポート商品残高 / (個人向け資産形成サポート商品残高 + 個人預金(円貨))
 *3. 内訳は社内管理計数

個人向け資産形成サポート商品利用先数

➤ 個人向け資産形成サポート商品利用先数は堅調に増加

NISA契約先数*1	24/3末	107千先 (23/3末比+15.0%)
積立投資信託利用先数	同	67千先 (同 +28.8%)
iDeCo加入者数*2	同	32千先 (同 +21.2%)
企業年金加入者数*3	同	59千先 (同 +4.1%)

- (1)外貨預金
- (2)公共債
- (3)保険
- (4)ファンドラップ
- (5)投資信託



*1. NISA、ジュニアNISA、積立NISA *2. iDeCo加入者+運用指図者
 *3. 確定給付企業年金加入者数(りそな銀行幹事分)+企業型確定拠出年金加入者数
 *4. ()内は前期比増減率

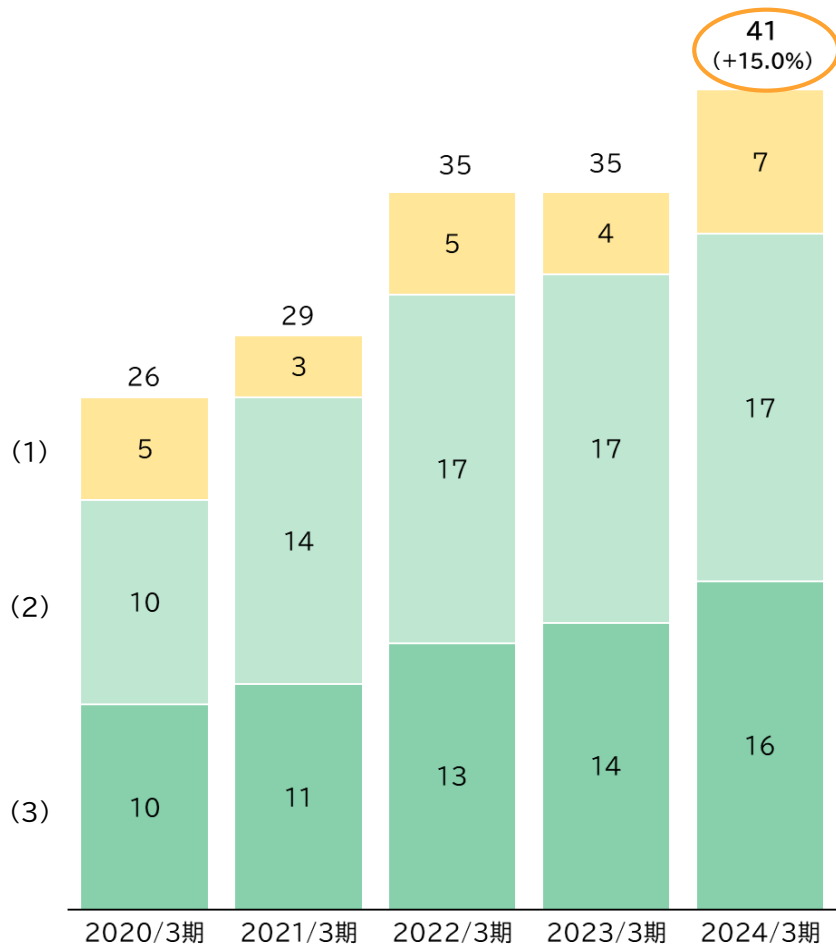
承継ビジネス

承継ビジネス収益

➢ M&A収益等の伸長により、承継ビジネス収益は増加

■ (1)M&A ■ (2)信託収益^{*1} ■ (3)BM

(億円)



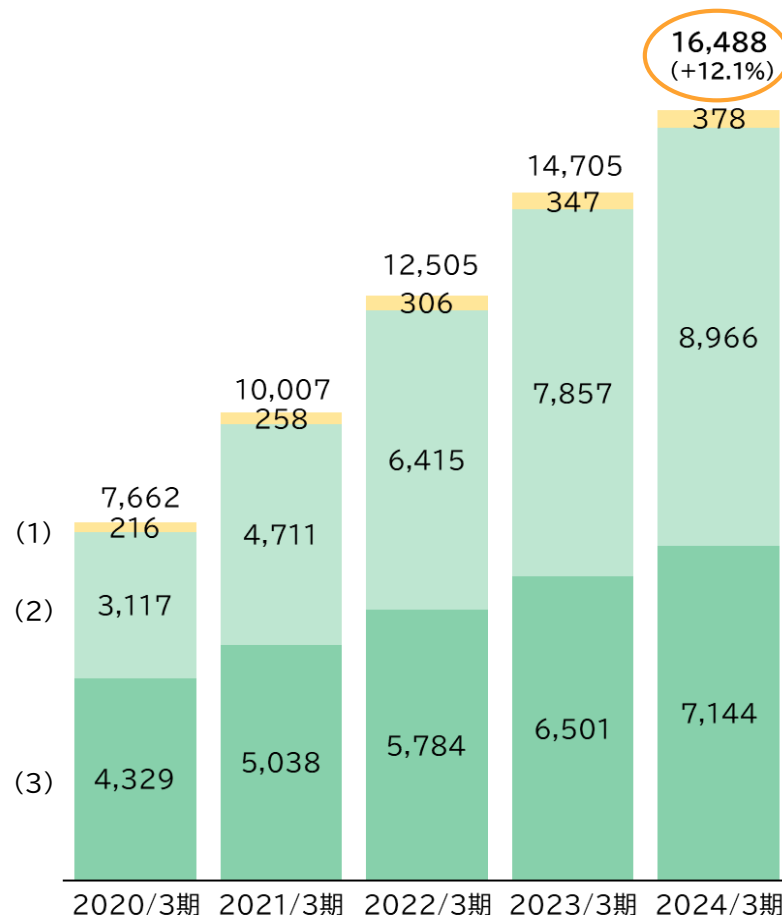
*1. 遺言信託、遺産整理、自社株承継信託、マイトラスト、ハートトラスト、合同金銭信託運用益
*2. 内訳は社内管理計数 *3. ()内は前期比増減率

資産承継ストック件数

➢ 承継ニーズの高まりを捉え、資産承継ストック件数は増加

■ (1)自社株承継信託 ■ (2)資産承継信託^{*1} ■ (3)遺言信託

(件)



*1. マイトラスト、ハートトラスト
*2. ()内は前期比増減率

与信費用、不良債権

与信費用

- 経営改善支援の取組みが奏功し計画内
- 2025年3月期計画は、環境変化への備えを織り込み

(億円)	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期 計画
	(a)	(b)	(c)	(d)
与信費用 (1)	△55	△21	△37	△60
一般貸倒引当金 (2)	12	△10	△16	
個別貸倒引当金等 (3)	△68	△11	△21	
新規発生 (4)	△84	△53	△48	
回収・上方遷移等 (5)	16	42	26	
				(bps)
与信費用比率*2 (6)	△ 6.6	△ 2.4	△ 4.1	△ 6.9

*1. 正の値は戻入を表す

*2. 与信費用／金融再生法基準与信残高(期首・期末平均)

経営改善支援

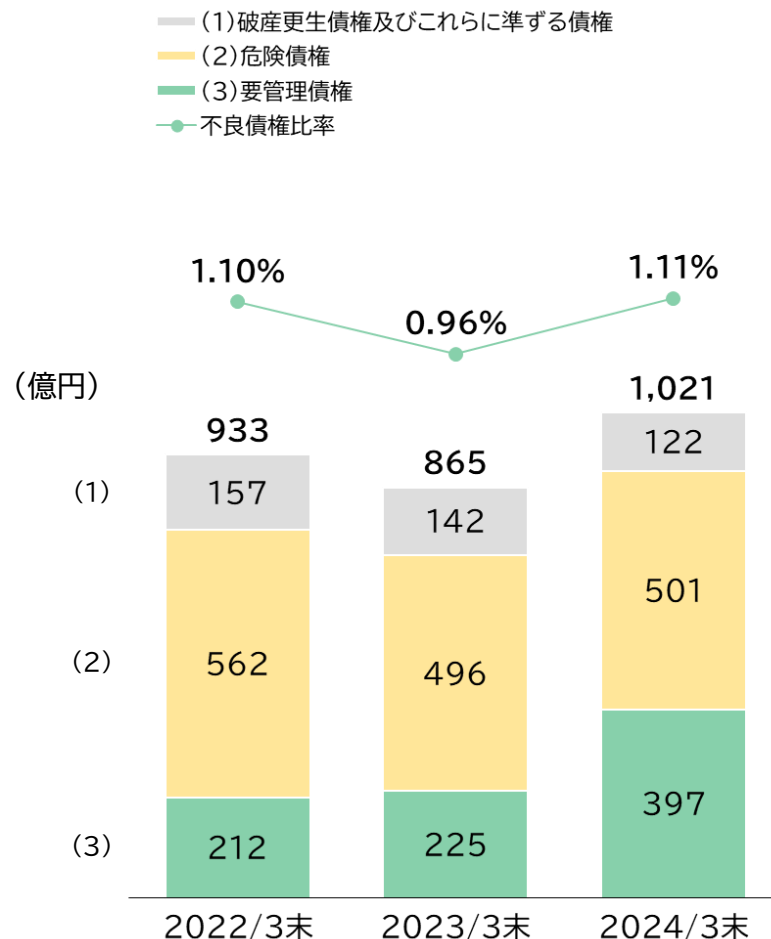
- 2020年8月、本部内に営業店支援グループ新設
営業店と共同した経営改善支援の取組みは着実に進捗

(先)	2022/3末	2023/3末	2024/3末	2023/3末比
	(a)	(b)	(c)	(d)
支援数 (1)	1,021	1,019	1,173	+ 154
経営改善数 (2)	50	75	74	△1

不良債権残高・比率の推移

- 不良債権比率は、低位推移

(金融再生法基準)



有価証券、自己資本比率

有価証券

- 健全性・収益性向上を目的とした健全化を実施
国債評価差額は△52億円(前期比+76億円)に改善(d-4部分)

(億円、ヘッジ考慮前)	2022/3末 (a)	2023/3末 (b)	2024/3末 (c)	評価差額 (d)
その他有価証券*1 (1)	11,124	8,978	9,469	880
株式 (2)	533	494	451	1,085
債券*2 (3)	8,959	6,672	6,154	△ 118
国債 (4)	4,371	1,960	1,513	△ 52
(デュレーション)*3 (5)	6.9年	13.7年	9.0年	-
(BPV) (6)	△ 4.0	△ 2.5	△ 0.9	-
地方債・社債 (7)	4,587	4,712	4,640	△ 65
その他 (8)	1,631	1,811	2,864	△ 87
外国債券 (9)	601	707	1,992	△ 62
(デュレーション) (10)	6.8年	6.1年	5.5年	-
(BPV) (11)	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.8	-
国内投資信託 (12)	1,030	1,073	871	△ 24
(評価差額) (13)	667	741		
満期保有債券 (14)	8,474	12,915	16,430	

- *1. 取得原価、時価のある有価証券
- *2. ヘッジ考慮後の計数
- *3. 変動利付国債のデュレーションはゼロで計算

自己資本比率(国内基準)

- 自己資本比率は更に上昇、成長資金の供給余力拡大
- 2024/3末よりバーゼル3最終化を適用

(億円)	2023/3末 (a)	2024/3末 ^{*1} (b)	増減 (c)
自己資本比率 (1)	15.09%	16.55%	+1.46%

自己資本の額 (2)	3,723	3,684	△38
コア資本に係る基礎項目の額 (3)	3,796	3,888	+92
コア資本に係る調整項目の額 (4)	△73	△204	△130

リスク・アセット (5)	24,667	22,262	△2,404
信用リスク (6)	20,384	20,578	+193
マーケット・リスク (7)	29	320	+290
オペレーショナル・リスク (8)	2,019	1,363	△656
フロア調整額 (9)	2,233	-	△2,233

- *1. 単体・経過措置
- *2. 連結自己資本比率(経過措置):16.55%、同(完全実施):11.65%

中期経営計画の進捗

『価値の良い流れを創り出す』共創社会のハブへと進化する3年間

安心して豊かな社会の実現

事業・暮らしの安心
金融リテラシー向上
安心・安全な金融インフラ



金融教育受講者数
3千人
積立投信利用先数
52千人

金融教育受講者数
15千人(+400%)
積立投信利用先数
67千人(+28%)

持続的な成長への貢献

挑戦への伴走
変化への対応
次世代への発展的承継



決済関連収益^{*3}
169億円
資産承継ストック件数^{*4}
14千件

決済関連収益^{*3}
178億円(+5%)
資産承継ストック件数^{*4}
16千件(+12%)

魅力ある埼玉の創造

地域課題の解決
人・企業の流入
誰もが輝く社会



地域課題解決件数
40件
RTF実行額^{*5}
3,180億円

地域課題解決件数
88件(+120%)
RTF実行額^{*5}
5,615億円(+76%)

*1. 計数は2023/3末時点と2024/3末時点の比較であり、社内管理計数を使用。()内は2023/3末比増減率 *2. 決算関連収益を除き、累積値を記載
*3. 内為、外為、EB、口座振替、VISAデビ、りそなキャッシュレス・プラットフォーム *4. 自社株承継信託、資産承継信託(マイルトラスト、ハートトラスト)、遺言信託 *5. リテール・トランジション・ファイナンス

○事業・暮らしの安心への取組み

- ・「つみたてボックス」リリース
- ・暮らしのこまりごとの頼れる身近なパートナー「暮らしコンシェルジュ」を各営業店に配置
- ・「価格転嫁サポーター制度」の牽引・普及

○金融リテラシー向上に向けた取組み

- ・りそなキッズマネーアカデミーを県内166拠点で開催2,000名を超える小学生が参加
- ・約7,000名の取引先企業従業員へ金融教育実施
- ・県内10拠点で高齢者向け特殊詐欺防止セミナーを開催し約200名が参加

○創業支援への取組み

- ・埼玉県「(仮称)渋沢栄一起業家サロン」開設に向けた、基本計画策定支援等実施
- ・日本政策金融公庫との連携強化協調融資件数が54件(前期比+116%)に拡大

○DX支援への取組み

- ・りそなグループアプリセットアップ件数150万件突破
- ・グループ機能を活用したDX支援が加速94件(前期比+370%)
- ・差押業務の一部電子化や県証紙廃止に伴うRCP^{*}導入等、行政DXをサポート

○SX支援への取組み

- ・「りそなSX住宅ローン」リリース
- ・「みらいE-us+プロジェクト」スタート
- ・SDGs私募債「日本一暮らしやすい埼玉」推進ファンド発行金額300億円突破

○新たな価値領域への挑戦

- ・農業ビジネスタスクフォースを改組し、法人部内にアグリソリューションデスク新設
- ・県内の空き家問題早期解決に向けて、「空き家対策タスクフォース」組成

*. りそなキャッシュレス・プラットフォーム

サステナビリティ

・ 持続可能な社会の実現に向けた取組みを加速

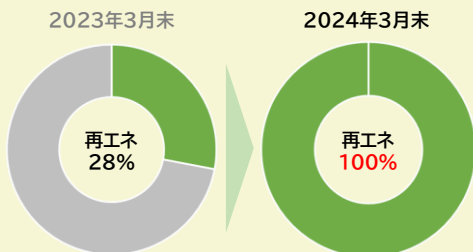
カーボンニュートラル



再生可能エネルギーの導入加速

- ・ 自社物件の再生可能エネルギー比率は、地域新電力への切替え等により100%達成
- ・ 賃借物件は2027年度の100%達成を志向

自社物件の再エネ比率

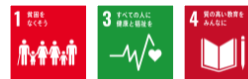


県内の電動車普及への貢献

- ・ 営業車両の電動車(主にEV車)への切替えを本格化。2029年度までに100%を目指す
- ・ 今後、来店されたお客さまにも利用可能な充電設備を新設予定



地域共助



店舗ネットワーク活用した共創空間の創出

- ・ りそな YOUTH BASE(せんげん台支店) イベント等を通じて子ども支援の取組みをサポート
- ・ 三郷菜の花ガーデン(三郷支店) NPO法人等の活動拠点として地域の発展に貢献

従業員起点で子ども支援に貢献

- ・ フードドライブは、累計90拠点、2万8千点に拡大
- ・ ヤングケアラー支援を目的に学習教材のブックドライブを新たに実施
- ・ 上尾市内でスタートした子ども服交歓会の取組みは、さいたま市内の拠点にも拡大

未来を創る子どもたちの育成

- ・ 未来志向養成やキャリア教育の一環として、希望する県内高校への大阪・関西万博チケット無償配布を決定
- ・ りそな未来財団の奨学金事業を通じて、次世代を担う高校生をサポート

地域のみなさまとの連携強化

- ・ 地域共助を理解し共感できる人財の育成と、人手不足の解消を目的に、NPO法人等へ従業員を派遣
- ・ 他企業・団体のメンバーと、地域課題解決に向けた提案・提言を共創する「未来プラスプロジェクト」を始動

ダイバーシティ & インクルージョン



女性の活躍は更に進展

- ・ トレーニー制度等養成プログラムを拡充し、女性経営職階比率は上昇
- ・ 女性ライン管理職比率はサステナビリティ長期目標40%を上回る水準



D&Iの推進

- ・ 仕事と育児の両立支援により、子育てサポート企業として「プラチナくるみん」の認定取得



- ・ 多様な働き方の推進により、埼玉県の「多様な働き方実践企業」認定取得

- ・ LGBTQが働きやすい環境づくりを促進する「埼玉県アライチャレンジ登録企業制度」に登録



ラボたま

- ・ 設立後2年半を迎え、これまで311件の案件にアプローチし、42件の実績
- ・ 金融の枠を超えた様々な地域課題解決に対する挑戦を積み重ね、地域の未来にプラスの価値を提供

日々の活動を配信中♪



いっしょに成長

ラボたま

地域デザインラボさいたま

＼ HP ／ ＼ Instagram ／



LABTAMA.OFFICIAL

ラボたまの実績(42件の内訳)

まちづくり分野



中心市街地活性化の課題に対する計画・実行・運営の一貫支援など計7件

公共施設マネジメント分野



老朽化した学校の再整備・複合化に向けた地域住民のワークショップ実施支援など計7件

河川利活用分野



オーバーツーリズムの課題に対する河川利用有料化等の対応策実施支援など計5件

空き家対策分野

高校と連携した空き家住居教育や発生抑制に関するモデル事業など計6件



文化財利活用

りそな コエドテラス
5/15オープン!

次頁を
ご覧ください!



産業創出支援分野

起業家と地域の共創を目指したビジネスコンテスト、官民連携事業の実現に向けたピッチイベント開催など計6件



ゼロカーボン分野

エネルギーの地産地消を促進するための協議会の運営支援など計3件

ふるさと納税分野

地方創生支援のための市町村からの企業版ふるさと納税マッチング受託(23自治体)など計3件

その他分野

地域のブランディング支援や住民の防災意識向上支援など計4件

りそな コエドテラス

- ・ 5月15日(水)、国の登録有形文化財である旧川越支店が、「りそな コエドテラス」としてリニューアルオープン！
- ・ “埼玉県の産業・観光・暮らしの好循環を創出し、地域の未来をプラスにする唯一無二の共創拠点”を目指し、産業創出やブランディング、販わい創出に挑戦します

<主な取り組み内容>

① 産業創出事業 (1F/3F)

インキュベーション・コワーキングスペース・シェアオフィス、シェアキッチン、チャレンジショップ、テストマーケティング、各種イベント、教育等としての場

② ブランディング事業 (1F/2F)

カフェテリア、レストラン、バー、物販など埼玉や川越の魅力、農と食、地域物産品、文化芸術、地域活動などのブランド発信やPRの場

③ 販わい創出事業 (屋外スペース・2F)

屋外スペース、テラスなど、学生やファミリー層など含めた幅広い住民が集い、楽しめる豊かな生活拠点



りそなコエドテラス

Resona Koedo Terrace



※写真はイメージです

(ご参考)貸出金・預金未残の推移

(億円・%)		2022/3末	2022/9末	2023/3末	2023/9末	2024/3末	2023/9末比	2023/3末比	増減率
		(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)
貸出金	(1)	82,941	86,060	88,113	88,251	89,788	+1,537	+1,675	+1.9%
	(政府等向け除き)	(2)	(76,006)	(75,983)	(77,322)	(79,162)	(+1,839)	(+2,598)	(+3.3%)
中小企業等向け貸出金	(3)	64,335	64,090	64,397	64,862	65,582	+720	+1,185	+1.8%
	同比率	(4)	77.5%	74.4%	73.0%	73.4%	△0.4%	△0.0%	
消費者ローン	(5)	45,000	45,116	45,250	45,405	45,665	+260	+415	+0.9%
	自己居住用住宅ローン	(6)	35,176	35,454	35,716	35,936	+269	+489	+1.3%
	アパートマンションローン	(7)	8,550	8,351	8,201	8,106	△31	△127	△1.5%
	消費性ローン	(8)	1,273	1,310	1,332	1,362	+22	+53	+3.9%
	中小企業*1	(9)	19,334	18,973	19,146	19,456	+460	+769	+4.0%
埼玉県内貸出金	(10)	74,270	74,310	74,766	75,406	76,870	+1,463	+2,103	+2.8%
	埼玉県内シェア*2	(11)	44.4%	43.4%	43.2%	43.3%	+0.2%	+0.3%	
預金*3	(12)	167,174	166,590	169,909	170,502	174,189	+3,686	+4,280	+2.5%
	流動性預金*4	(13)	128,444	127,473	133,973	134,889	+4,042	+4,958	+3.7%
	定期・譲渡性預金等	(14)	38,729	39,117	35,935	35,613	△355	△678	△1.8%
国内個人預金	(15)	120,455	123,169	124,608	126,290	127,813	+1,522	+3,204	+2.5%
	同比率	(16)	72.0%	73.9%	73.3%	74.0%	△0.6%	+0.0%	
国内法人預金	(17)	32,073	31,290	31,599	33,085	34,146	+1,061	+2,547	+8.0%
埼玉県内預金*3	(18)	165,328	164,758	168,285	169,238	172,949	+3,711	+4,664	+2.7%
	埼玉県内シェア*2	(19)	45.9%	45.5%	45.9%	45.8%	+0.3%	+0.2%	

*1. 中小企業＝中小企業等向け貸出金-消費者ローン *2. 国内銀行勘定ベース

*3. 譲渡性預金を含む *4. 流動性預金＝当座預金＋普通預金＋貯蓄預金＋通知預金

本資料中の、将来に関する記述(将来情報)は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

具体的には、本邦における株価水準の変動、政府の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因などです。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。

金融+で、 未来をプラスに。

社会がどのように変わっても、
安心して前を向けること。
希望を持って踏み出せること。

そのために私たちは
一つひとつの地域に寄り添い、
金融の枠にとどまらない発想で
小さなことでも、大きなことでも、
未来をプラスに変えていく。

たくさんの安心と希望、
そしてワクワクする未来のために、
私たちりそなは、変革と創造に挑み続けます。

